

主催 JCI 一般社団法人 八重山青年会議所

経済フォーラム

# 空の大革命で 八重山の地域起こし ～ワクワクする、未来を。～



**開催日** 2022年5月14日(土) 14:00-15:20 **会場** 株式会社 紫電舎 [2階会議室]

第一部  
地域の支えとなる新しいイノベーション「SuperCity 石垣」

株式会社プラネット社  
代表取締役  
**平松 忠敏 氏**

第二部  
SuperCityを支える技術と生活を変えるドローン

アクセント株式会社  
シニア・マネージャー  
公共サービス・医療健康本部  
**木下 博司 氏**



お問い合わせ 一般社団法人 八重山青年会議所 ☎0980-82-6566



「2024年、ドローンネスト。ビルの一角から自動離発着するドローン基地」 illustration by yamakitakumi

# 本格化するドローン物流

ドローンは今後確実に活躍の場を拡げ、2024年度にはその市場規模が5,000億円を突破するとも言われています。それに伴い国や企業は続々と整備や開発を進めています。夢のようなサービスが私たちの身近に生まれる日もそう遠くないかもしれません。中でも、物流業界でドローンの活躍は非常に期待されています。有人地帯での飛行が可能になれば、私たちの上空をドローンが飛び回るようになります。その飛び回るドローンの多くが物流業界のドローンかもしれません。物流業界でドローンが使用可能になった場合、日常的な配達にはドローンによって行われ、従来より早く物が届くようになるだけでなく、配達に難しい過疎地域への配達が可能になります。現在、過疎地への日用品の配達の実証実験が行われています。



## 防災

防災でのドローンの役割としては主に、災害時の被災状況の確認や消火活動支援などがありますが、何より重要な被災者の捜索や救助でも、ドローンの活躍が期待されています。被災者の捜索では、ドローンに搭載された赤外線カメラを用いて逃げ遅れた人を空から捜索することができるため、多くの人を迅速に救助できるようになります。その他、大規模な災害時では、どこに何が倒れているのかもわかりません。樹木が倒れたり、建物が倒壊し、道を塞いでいる可能性もあります。そこでドローンを使って事前に確認することによって、スムーズに作業を行うことが可能になります。



## 農業

農業はコスト削減が大きく見こめる産業の一つです。現状、農業では高齢化と人手不足が大きな問題となっています。農業の場合、広い畑や田んぼ等の一つ一つ農薬配布したりするため、非常に時間がかかります。そのため農業にドローンを導入することによって、農薬配布を手元の操作だけで簡単に素早く行うことができるだけでなく、人が動く必要がないため、人手不足の農業としては多くの課題が改善されることでしょう。



## 保守点検

保守点検の分野では、主に高いビルや風力発電、送電線、橋など人間がかかり危険性のある現場が多いため、人手不足に悩まされています。高いところでの点検もドローンを使って行うことができ、人が自ら高所で作業する必要がないため、安全かつ効率的に点検を行うことができます。さらに、ドローンによる業務の効率化から、人件費などのコストを削減することが可能になります。また作業をするための足場を組む必要があり、この足場を組むだけでも、大きなコストが発生します。そこでドローンを使用することにより、足場を組む労力やコストも削減することができ、時間も大幅に短縮することが可能になります。



政府が考える Society5.0 の世界  
□ Society1.0 ~ 未来へ



政府が考える Society5.0 の世界  
□ Siciety5.0 の世界は？